

アドバnst マイクロ デバイス(AMD)

【セクター】 半導体製造

信買

【市場】 NASDAQ

信売

【企業概要】

米ファブレス半導体大手。パソコンやデータセンターのサーバー、ゲーム機などに搭載されるCPU（中央演算処理装置）とGPU（画像処理プロセッサ）、およびAPU（CPUとGPUの複合型チップ）などを開発・販売しています。ファウンドリー（半導体受託製造）大手台湾セミコンダクターの先端プロセス技術を活用することで、製品の競争力を高めてきました。サーバー向けCPUは「EPYC」、AI半導体は「Instinct」、パソコン向けCPUは「Ryzen」のブランドで展開します。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

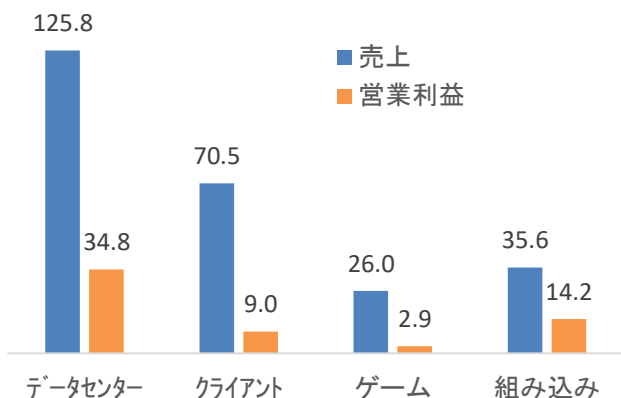
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
23.12期	22,680	1,039	0.64	0.00	34.6	1.5	82.3
24.12期	25,785	1,940	1.18	0.00	35.5	2.9	83.2
25.12期（予）	33,021	6,412	3.95	0.00	37.9	8.7	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

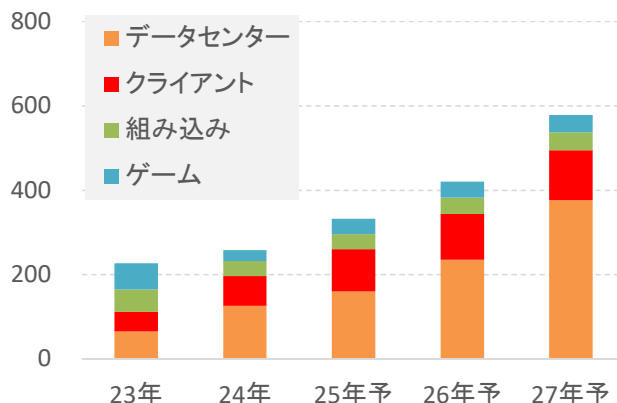
【主要指標】

部門別売上・営業利益（億ドル、2024年12月期）



（出所）BloombergデータよりSBI証券作成

部門別売上高（億ドル）



注：予想はBloomberg集計の市場コンセンサスによります。

（出所）BloombergデータよりSBI証券作成

【会社の見方】

CPU分野で2017年以降に投入した新製品群によって競合のインテルからシェアを奪っています。同分野では、今後もインテルからシェアを獲得すると期待されます。一方、GPU分野ではエヌビディアが依然として優勢です。ただ、2023年からの生成AIブームはエヌビディアほどではないものの、同社にも恩恵が及んでいます。テック大手がAIの導入を急いでおり、エヌビディア以外の製品に対する需要も増加しているためです。同社は需要を取り込むために、2023年12月に「Instinct MI300」で参入、2026年には次世代チップの「Instinct MI450」を投入予定です。2025年10月にはOpenAIおよびオラクルと大型のAI半導体供給契約を締結しており、2026年、2027年の売上拡大をけん引すると期待されます。

【見通し・注目点】

7-9月期決算は売上が前年同期比36%増、調整後EPSが同30%増で、いずれも市場予想を上回って好調でした。部門別売上は、データセンターが前年同期比22%増、クライアントが同46%増、ゲームはゲーム機向けが伸びて同181%増、組み込みは同8%減でした。組み込みを除く3部門が市場予想を上回りました。10-12月期の売上ガイダンスは中央値を96億ドル（前年同期比25%増相当）として、市場予想を上回りました。

本レポートに関するご注意事項

- ・ご紹介する個別銘柄及び各情報は、投資の勧誘や個別銘柄の売買を推奨するものではありません。
- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）、店頭CFD取引（SBI CFD）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

株式会社SBI証券 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号、商品先物取引業者
 加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会